

# 光輪

第140号  
〒950-2022 新潟市西区小針4丁目5番18号  
真宗佛光寺派 瑞林寺 光輪会  
電話 (025) 266-1846・FAX (025) 266-1907  
瑞林寺ホームページ http://www.zuirinji.com

「しんらんさまの日」 8月20日・9月23日 (秋彼岸法要) 本堂 13:30~



## 8月13日 盆参り

境内に僧侶が待機しております。  
お気軽に連絡をお願いします。

本堂にて  
光輪会費等納入の受付  
冷たい水(セルフサービス)  
お供えもの、「ミ」はお持ち帰りください  
使用後の桶等は所定場所にお戻しください

駐車場案内  
瑞林寺参詣者専用駐車場(本堂裏手)  
桜井建設設計様臨時駐車場(小針161-2)

当日の月参りはお休みです

お盆参り  
本堂前かき水やります!

写真：法要でお披露目された前住職・坊守の御影

## 瑞林寺の由来と歩み



曹洞宗  
昌興寺住職  
石田哲彌師

後水尾天皇讓位 明正天皇誕生

元和9年(1623)後水尾天皇と和子姫の間に皇女一宮(興子親王)が誕生、同時に和子姫は中宮和子に冊立されました。寛永6年(1629)後水尾天皇は様々な徳川幕府の軋轢により激怒、突如讓位したのです。こうして妙徳院の孫、わずか8歳の皇女一宮が第109代、明正天皇となりました。稱徳天皇以来、859年ぶりの女帝の誕生です。しかも、武家政権に關係した唯一の天皇であり、また新潟県が生んだ最初で最後の天皇でもありました。中宮和子は東福門院和子の宣下を受け、引退。念願の修學院離宮造園に着手、さらに衣裳のデザインとしてファッション感覚もおも

もいきり發揮しました。さらには鳥獸戯画の修復をするなど、日本文化の発展にも大きく貢献したのです。

將軍秀忠逝去 妙徳院大典引退

寛永9年(1632)妙徳院58歳の時に將軍、徳川秀忠が逝去しました。天海僧正を通して形見の数珠が妙徳院のもとに届けられました。翌10年(1633)妙徳院はこれを潮時に大輿を引退。天海僧正に歸依し、仏門に入りました。そのとき、宮中より思召しがあり、参内。娘の皇太后、東福門院和子と久しぶりの再会を果たしました。そして公武合体の陰の功勞者として朝廷から「勅特賜」の称号を賜りました。日本の女性ではただ一人の「勅特賜」です。また幕府からは1千石という莫大な化粧料(退職慰勞金)が下賜されました。阿茶ノ局や春日局でさえ3百石でしたから、いかに莫大であったかがわかります。同年、8月中旬、化粧料1千石のうち、5百石を戸隠中院の建立に、また2百石を関山宝蔵院の復興に

次回 お楽しみに!  
9月3日(日)  
12月10日(日)  
朝7時 瑞林寺本堂集合  
読経&ヨガ・法話・薬膳弁当とお話  
参加費 5,500円(税込)



寄進し、大きな功績を残しました。戸隠中院の棟札には「信心大施主」として「妙徳院 実名勅許廣次上人 八月下旬」とあり、また関山宝蔵院には妙徳院の功績を敬慕し、お墓が建立されました。

## 淤泥草

7月20日は前任職の2年目の命日です。10日光輪会総会、11日親戚・家族で、前住職3回忌と前坊守、前々坊守の27回忌の法要を勤めさせていただきます。

この度の法要に、前住職と前坊守2人並んだ御影(表紙の写真)をつくらせてもらいました。生前中は仲が良かったのか悪いのか、息子としてはよくわからない関係でしたが、この父と母が私を生んで下さったことに感謝しかありません。

この御影を見る度に、父と母が並んで今も私を見護っていて下さると、自然と手が合わさり念仏の声となります。

世話方の山田さんが毎年「月下美人」の写真を送って下さいます。月下に夜半、口だけ咲く花。真夜中、誰も見てなくとも美しく咲く花に人生の尊さを憶わされます。

只今、光輪会世話方の再編中です。決まり次第ご報告いたします。

## 光輪会 会計報告 令和4年度決算及び令和5年度予算

(単位：円)

項目	令和4年度決算	令和5年度予算
1. 繰越金	18,292	18,719
2. 会費	3,060,000	3,200,000
3. 利息	8	81
合計	3,078,300	3,218,800
1. 寺院維持費	1,581,728	1,415,000
①諸会費	88,600	90,000
②営繕修理費	680,170	500,000
③保険費	753,838	760,000
④清掃管理費	59,120	65,000
2. 寺院運営費	1,477,853	1,645,000
①教化研修費	190,880	200,000
②法要荘厳費	220,000	220,000
③印刷費	393,940	500,000
④通信費	200,000	220,000
⑤図書費	15,000	15,000
⑥会議費	39,593	40,000
⑦備品費	253,440	300,000
⑧雑費	165,000	150,000
3. 特別会計繰越金	0	0
4. 予備費	0	0
合計	3,059,581	3,060,000

### 光輪会会計

収入 (3,078,300円) - 支出 (3,059,581円)  
= 18,719円 次年度繰越金

### 本山会計

(本山護持金外)  
収入の部 1,719,394円  
支出の部 1,639,300円  
次年度繰越金 80,094円

### 特別会計

(積立金)  
収入の部 1,281,687円  
支出の部 50,000円  
次年度繰越金 1,231,687円

監査の結果、正確適正であることを認めます。  
令和5年6月10日  
渡部 正 印  
吉田 昭一 印

### 令和5年度 これからの行事

5月	4月	3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月
26	28	24	18	25	28	6	1	31	29
26	28	24	18	25	28	6	1	31	29
しんらんさまの日	しんらんさまの日	しんらんさまの日	春彼岸・差向布教	新年世話方会議 しんらんさまの日	初お講	寺役始め	修正会・お年始参り	歳暮法要・除夜の鐘	寺役納め
しんらんさまの日	しんらんさまの日	しんらんさまの日	しんらんさまの日	女性会ヨガ&薬膳	しんらんさまの日	報恩講	しんらんさまの日	お磨き・世話方研修	無量寿廟 法要
しんらんさまの日	しんらんさまの日	しんらんさまの日	しんらんさまの日	女性会ヨガ&薬膳	しんらんさまの日	報恩講	しんらんさまの日	お磨き・世話方研修	無量寿廟 法要

※しんらんさまの日(13時半)  
正信偈に聞く開法会です

## お盆法話

住職 廣澤 晃隆

お浄土とは「俱会一処」  
俱に一緒にまた会える処

人は死んだら終わりでしょうか? 二度と会うことは出来ないのでしょうか? いいえ違います。また会える場所を「俱会一処」といいます。しかし、その場所は本当に会いたいと思わなければ往くことはできません。でも自分で憶い願えばすぐに往けるのかというそれは難中の難。自分の力では往くことができないので苦しいのです。そこに仏法を聴聞する意味があります。仏法を聴聞するということ、大切な人と再び会いたい、会わなければ生きていけないと願われた時、一歩踏み出す

勇気が生まれてくるのでしよう。もう既にそう願われた大切な人と出会っていると教えて頂きます。それはじき方も仏さまの言葉となつて待っていて下さる。しかし現実はずいぶん出ないのか? それは心のどこかで、もうあなたは死んでいないんだと決めつけ疑っているからでしょう。目に見えないし、声も聞こえない、触れることもできないので仕方の無いことです。しかしそれは五感に感じられないだけで、それはもともと深い感覚(慈悲)として感じることができの難。仏法聴聞とは、その深い感覚を仏さまの言葉を通して養うことです。大切な人と再び出会う場それはまた大切な方の人生を補う(一生補処)仕事にもつながります。大切な方の命は今、私の身や命となつて生きています。

書籍紹介  
『痛命のころ』 廣澤 憲隆 著  
老院三年忌追悼再版 報恩講話法話を収録。

7月 不汚の心  
純粋な未来  
と語り合う

## 新米 坊さん日記

車の運転中に感じたことがあります。脇道から大きい通りに入る際、譲ってくれた車にいつも通り手を挙げて、その運転手が「どういたしまして」のサインを出してくれました。たまたまのサインインなのですが、そこに「ありがとう」「どういたしまして」の双方の気持ちがあると、なぜか心温まる気持ちになりました。長年運転していますが、「どういたしまして」のサインを出したことはありません。しかし、運転という平凡な環境の中にも、ひとつの呼吸でこころもちがかわる。小中学校がよく実践するあいさつ運動にも様々な意味が込められています。私はここです。地域はあなたを見守っています。見知らぬ者同士のコミュニケーションが育む社会性や、人間性を子供たちへ伝え、認識する大切な働きです。普段から呼吸すれば、こころも豊になり、周りが見えてくる。身近なところにも、人生を豊かにするヒントはいくらでもあります。そうあなたに教わったのであります。(山魁)

先日、寺子屋習字教室で活躍した100本あまりの筆の供養をいたしました。